

2023年11月30日

各位

株式会社三井住友銀行

パンチ工業株式会社に「ESG/SDGs推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、パンチ工業株式会社（代表取締役 社長執行役員：森久保 哲司）に対し、「ESG/SDGs推進分析融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回のパンチ工業株式会社に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「従業員への配慮」、「サステナビリティマネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGsへの貢献意欲をお持ちであるとの判断となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① マテリアリティの一つとして「地球環境への配慮」を掲げ、2030年までのCO2削減目標と2050年にグループ全体でカーボンニュートラル実現というビジョンを明示した上で、太陽光発電の導入や生産設備の省エネ化、生産工程自体の見直しを行うなど、CO2排出量削減に向けた具体的な取り組みを進めておられる点
- ② 「人財育成方針」及び「エンゲージメント向上のための社内環境整備方針」を制定し、従業員の多様な働き方へのニーズに応えるため、在宅勤務制度の整備や男性の育児休業取得促進などの取り組みに加え、副業等に関する規程の整備を行っている。また、障がい者雇用率について、法定を上回る比率を保持し続けておられる点
- ③ 「ものづくり現場での自動化・省人化需要の高まりに『FA領域の“特注品”』で応える」という成長戦略を経営トップが発信し、事業を通じて顧客の生産性向上等に貢献する姿勢を示している。また、マテリアリティを考慮したサステナビリティ方針やグループとしての人権方針、人的資本に関する指標及び目標を設定・開示しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標8：働きがいも経済成長も」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs推進分析融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



太陽光発電パネル(ベトナム)

2023年7月、ベトナム工場の屋根に太陽光発電パネルを設置しました。ベトナム工場で使用する電力の約3割をまかなう予定で、年間で約415トンのCO<sub>2</sub>排出量削減を見込んでいます。

なお、ベトナム工場に先駆け、パンチグループでは2018年よりマレーシア工場の屋上に太陽光発電パネルを設置しています。その他の工場においても今後導入を検討していく予定です。



アンコンシャスバイアス研修

全社員を対象とした無意識の根拠のない思いこみや偏見に気付くためのアンコンシャスバイアス研修や、女性社員や社外取締役を講師とした女性活躍推進セミナーなど、ダイバーシティに関する社内セミナーを実施しています。



協働ロボット（パンチグループのアスクによる組立）

2022年10月、FA機器の設計・製造を行う株式会社ASCe（アスク）がパンチグループに加入しました。省力化・自動化を実現するFA機器、生産設備、各種治具などの設計・製作を得意とするアスクの技術と、当社当社グループ事業の柱である金型部品の特注品で培った技術力を応用して、生産ラインのように装置を組み込んだ、より複雑で高度な製品を提供します。

また、FAの活用による自社工場のスマート化にも取り組んでいます。自動運搬車・ロボット等の活用で、各工程間の運搬や工程内検査の自動化や運搬全体の効率化を見込んでいます。

<ご参考>

#### ※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

## ※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上